



毎月一日発行 発行所 宗像大社 福岡県宗像郡玄海町 電話 神鏡 133 番 定価 一年送料共500円

師走のみちしるべ

木枯り旧街道に孤立する道しるべ。その昔、宗像から遠賀へ 往還繁し街道を風は靡々と薄を分ける。人生を旅とせば道しるべは何にぞえられよう。師走の一時、来し方行く末を思い、自己の道標を求めてみたい。



宗像大社の大祓式は、今年三十一日に古式則り厳かに斎行される。当社の古い記録は、千五百年前古墳時代初期、沖ノ島に鎮座される沖津宮に捧げられた石製品に、これらの儀礼を見る事が出来る。

この田舎に因み、現在では行製品に代りに紙製の赤白大形(ひと)が、全国の崇敬者に発送され、三十一日に御送られた。大祓式を斎行、一年間のたゞし、これらに儀礼を見る事が出来る。

(写真は池田附近)

年越の大祓式

十二月三十一日

去る十一月三日は文化の日、この日午前十一時より、宗像大社に於て歌謡会による「織田先生を思ひ会」が開催された。

この日は、前日に引籠り教養講座として行われたもので、第二回は「歌謡の歴史」「歌の作り方」等歌道向上を目指して開かれたもので、また、新年賀は「むかし」。

十二月三十一日 午後五時 大祓式 今年一年間を振り返り、新年を祝う。除夜祭 去る年に別れを告げ、来る年を祝う。

宗像大社 宗像郡玄海町 電話 神鏡 133 番 定価 一年送料共500円

論説 理智の映像

この頃聞くともし聞いていない、演説放送が学生が騒動に取材し、巧みに機軸のタネに利用している。最高学府に学び、探求国家の指導者となるべき理智の若人の、暴発的ヤサの乱れが、報道のトナリとして立派な映像を映し出す。

現代の青年学生は、戦争を批判し、平和の強い願望を呼び、ひいては政治や外交の在り方に、黙して居るべき衝動を誘うことも有り。

然し、ある学生が書き残している「今は愛国の理智を、愛国の感情におかして祖国の防衛に当てる、愛する母や幼弟の住むこの国を護るために、一身死地を賭けるのが理智は命を失った犠牲者の映像となって、ヤサバヤカサカ争争となつて、死地に赴いたと、誰か思えない。国運危殆に達する時、愛する人々のために、理智の映像は、純愛の極致を表現したものと受けとれる。

思想は如何なる色彩をもつても自由である。それが言論によつて、如何なる形で表現されるか、それが理智の本質とすべき学生の行動か。

第二回「教養講座」開催

織田講師を囲んで

希望により講師に批評や添削をして戴いたので、この誌上掲載した。次回歌謡会は来春即ち過ぎの予定。兼題の歌は、明日花に替つて応募戴きます様お願い致します。



阿蒙少言

豊彦君が朝鮮征伐のため九州名護嶺に出陣の時、大坂城の落首にあつて、書いた伝言のまじりの手紙が、今日宗像の間に、戦国の英雄の一面をかきたる資料。ほろろと秀吉のライオンへの愛のさやまき、のぞき見る面影。英雄史観として残っている。度々大坂へ帰つたら、貴女をそばに抱きかかひ、秀吉の可愛い響き「つやうら」現代に訳すと、こんな文章。解説するまでもない夫婦。ラブレターの愛情を直直に表現。ラブレターの愛情を直直に表現。ラブレターの愛情を直直に表現。

宗像大社 宗像郡玄海町 電話 神鏡 133 番 定価 一年送料共500円

宗像大社 宗像郡玄海町 電話 神鏡 133 番 定価 一年送料共500円

宗像大社 宗像郡玄海町 電話 神鏡 133 番 定価 一年送料共500円

宗像大社 宗像郡玄海町 電話 神鏡 133 番 定価 一年送料共500円

宗像大社献詠

俳句作品集 (六)

久留米 篠田太郎坊
津屋崎 白石百合蔵
柿もき野はとつぷりと暮てなし

福岡 川上 三太
柿はむ小春次郎の味くべ
京都 桜井 秋衣
秋詠の植上り母の詠う食

鹿児島 中山 敬山
深谷のもじにひく雲の鐘
深田 中野 洋子

田島 齋藤 惇
田島 末安 大孝
たむむる雲がほにむじかな

田島 幸雄
佐賀 都渡 耕吾
日暮しの野辺にひびく服機

田島 宇都宮 弾
片輪 嶺 正雄
本枯吹きてつらふおのの坂

宿谷 中野タケ子
遠祖(おつお)のふ御出に



出光佐三 一問一答シリーズ

マルクスが日本に生まれてから

レコターを雇って、もう一年以上たっている。役所で雇ったのははじめてじゃないかね。ほかの出光のあり方を話すと、一般の人には「これは出光さんだけで、普通はできませんよ」という片づけは、し。しかし、そんなことではない。現に出光を雇って経営のあり方、従業員を扱って、それから労働組合のあり方が変わって来た。というところが、どうも出てきた。というところが、どうも出てきた。というところが、どうも出てきた。

「上京道中日記」
文久三年四月 吉田 主水 致 兼
松崎 武 俊
(おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。

「宗像敷庵先生百話」
南 方 華 や かな り し 頃
宗 像 太 郎 坊
(「おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。

「我楽苦多告知板」
(「おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。

「我楽苦多告知板」
(「おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。



「鍛冶」
(おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。

「鍛冶」
(おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。

「鍛冶」
(おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。

「鍛冶」
(おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。

「鍛冶」
(おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。

「鍛冶」
(おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。

「鍛冶」
(おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。

「鍛冶」
(おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。

「鍛冶」
(おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。

「鍛冶」
(おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。

「鍛冶」
(おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。

「鍛冶」
(おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。

「鍛冶」
(おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。

「鍛冶」
(おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。

「鍛冶」
(おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。

「鍛冶」
(おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。

「鍛冶」
(おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。

「鍛冶」
(おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。

「鍛冶」
(おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。

「鍛冶」
(おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。

「鍛冶」
(おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。

「鍛冶」
(おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。

「鍛冶」
(おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。

「鍛冶」
(おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。

「鍛冶」
(おはたけの、瀬戸の島屋は、ありながら、神は山にぞ、ましくける。